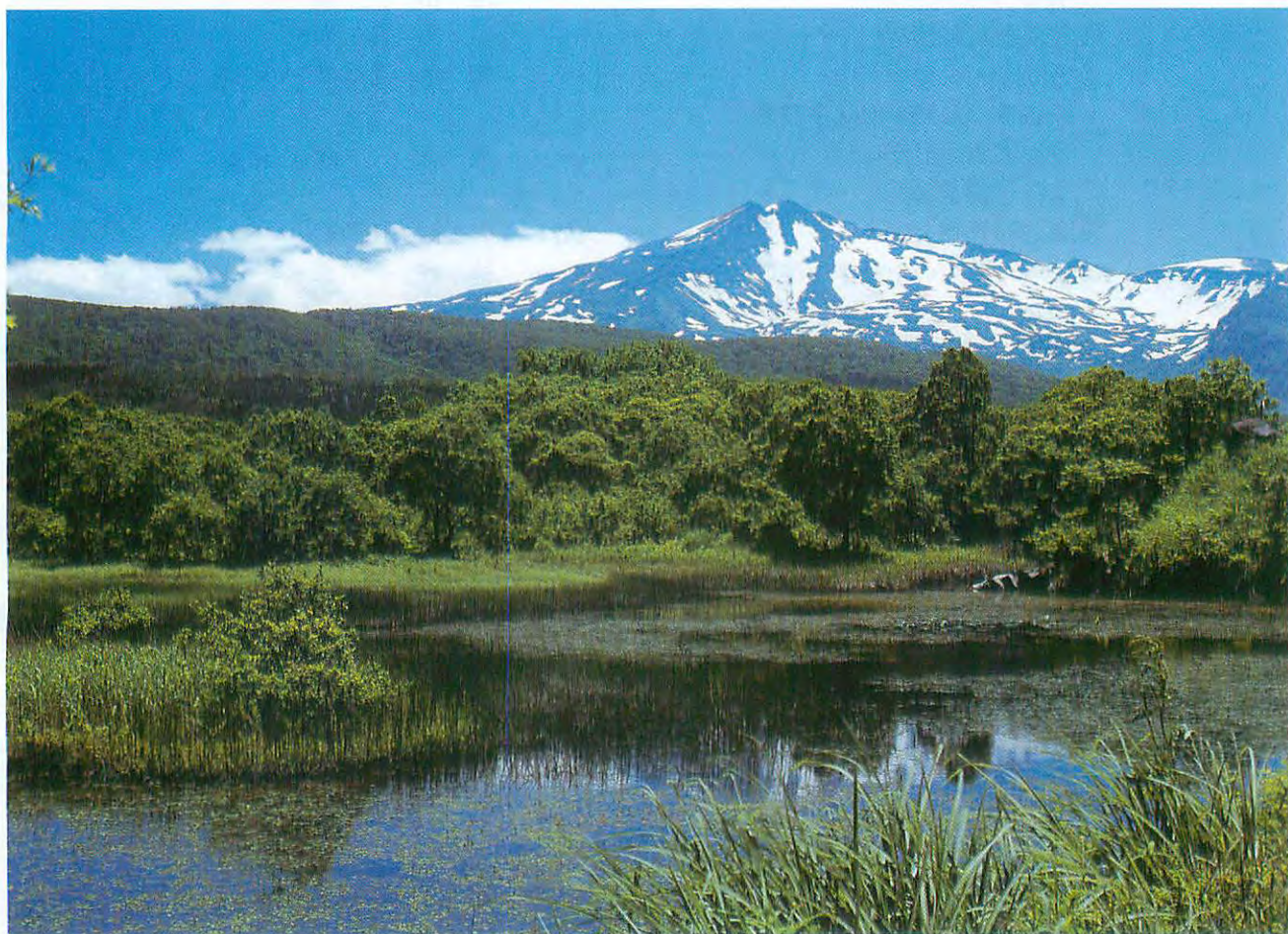


北光

第 149 号

平成23年4月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉾山専門学校
秋田大学鉾山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年(1911年)に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、
平成23年(2011年)に創立100周年を迎えます！

目 次

東日本大震災のお見舞い	
平成 23 年度北光会通常総会・支部総会のご案内	色紙 1
平成 23 年版(学部創立100周年記念)会員名簿発行のお知らせ	色紙 3
巻頭言	吉 村 昇 7
ご挨拶	西 田 眞 8
研究科長就任挨拶	小 川 信 明 9
会長便り	菊 地 芳 朗 10
学部創立 100 周年記念事業報告	
記念式典の計画について	渋谷 嗣 11
寄附者御芳名	 12
退職教員挨拶	大好 直・砂子田勝昭 17
北光魂で蘇生の 100 年を築こう	神 谷 修 19
学生の声「北光会賞受賞者」	 20
平成 22 年度卒業生・修了生進路状況	 26
留学生体験記	サリザピンティラムリ 29
.....	グエン バン キウ 30
関西セミナー実施報告	西 谷 忠 師 31
「燃料学科」80 年の歩みと「80 周年記念会」の開催	菅 井 幹 夫 32
寄稿「寮歌に寄せて」	大 山 宏 34
トピックス	
鉱業博物館より休館のお知らせ	 35
卒業生による特別講演	 35
平成 23 年度工学資源学部入学志願状況	寺 境 光 俊 36
北光会理事会打ち合わせ並びに表彰委員会報告	 37
北から南から	 39
会員便り・母校便り	 41
事務局から	 44
訃報	 45
編集後記	 46

東日本大震災のお見舞い

この度の災害におきまして被害を受けられました北光会会員並びに関係者各位に、謹んでお見舞い申し上げます。皆様の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

緊急措置として、秋田大学では3月23日（水）に予定していた卒業式を中止とし、それに連動して北光会では3月22日（火）の北光会理事会、および23日の新正会員歓迎会を中止と致しました。成績優秀者への「北光会賞」や、退職者への感謝の意を込めた記念品は、手分けして本人へ直接お渡しいたしました。

物資の供給、輸送手段や連絡網が完全には回復しておりませんので、「北光」の印刷時期はもとより皆様への送付時期が遅れてしまう事態となっております。深くお詫び申し上げます。

また、「北光」149号には「総会出欠ハガキ」「名簿確認ハガキ」などが同封され、皆様からのご返信をお願いしておりますが、期日までは間に合わない方も多いかと承知しております。申し込みの締め切りが過ぎましても、お待ちしておりますのでどうぞ各種手段でお送りください。

国難ともいえる非常事態だからこそ、北光会の絆を深めて、全国一丸となってこの難局を乗り切ってゆきましょう。

北光会会長 菊地 芳朗
事務局長 神谷 修

平成23年度 北光会通常総会のご案内

会 員 各 位

平成23年 4月吉日

北光会会長 菊 地 芳 朗

今年度の北光会通常総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

開催日：平成23年5月21日（土）

会 場：秋田キャッスルホテル

秋田市中通1-3-5 電話 018-834-1141(代)

通常総会

時 間 14：20～16：00

会 場 同 上

議 題 (案) (1) 会長選挙の件
(2) 役員選出の件
(3) 平成22年度会務および事業報告の件
(4) 基金使用の件
(5) 平成22年度決算報告の件
(6) 平成23年度予算案審議
(7) その他

感謝状・顕彰状授与式

講演会

時 間 17：00～17：40

会 場 同 上

講演者 秋田大学長 吉村 昇 氏 (ES42)

演 題 「資源の安定確保へ」秋田大学の挑戦

懇親会

時 間 18：00～

会 場 同 上

会 費 男性 7,000円 女性 5,000円（当日受付で申し受けます）

参加される方は5月18日(水)までに「北光」149号に同封のハガキまたは電話・FAX・E-mailでお申し込み下さい。なお、宿泊は各自お手配願います。

<お問合せ先>

北光会事務局 TEL 018-835-9822 または 018-889-2317

FAX 018-835-9822

E-mail: info@hokkokai.com

——平成23年度 北光会支部総会のご案内——

秋田支部（本部総会と一部合同）

日 時：平成23年 5月21日(土)〔詳細は北光会ホームページをご覧ください。〕
11：00～支部総会 14：20～本部総会・講演会 18：00～懇親会（本部と合同）
場 所：秋田キャッスルホテル 会 費：懇親会参加の場合は7,000円（当日持参）
連絡先：秋田支部事務局 石塚鈴雄（FS48）TEL 018-868-2808（自宅）
申込み：支部総会に参加の方は、5月16日(月)までに連絡先へお申し込み下さい。

東海・北陸支部

日 時：平成23年 6月4日(土) 15：30～18：50（受付15：00～）
15：30～総会 16：10～講演会 16：50～懇親会
場 所：大同健保会館（名古屋市熱田区神宮2-3-30 TEL 052-671-1186）
アクセス：名鉄「神宮前」駅西口 南に徒歩5分
講演会：講師 中山好雄氏（FS46）演 題：「部品メーカーを通して見た中国自動車事情」
会 費：7,000円（女性・平成19年以降卒3,000円。当日受付にて）
申込み：「北光」はさみ込みハガキで、5月24日(火)までにお寄せ下さい。
連絡先：東海・北陸支部事務局 長野勝也（FS41）TEL・FAX 0564-52-7393
E-mail:kaiyoubokujou@yahoo.co.jp
なお、支部行事（親睦ゴルフ大会、陶芸教室、北陸交流会、新年会等）を「北光」ホームページのニュースに載せますので参照ください。

九州支部

日 時：平成23年 6月11日(土) 総会 17：00～19：00
場 所：福岡市中央区渡辺通り1-1-2 ホテル ニューオオタニ博多 地下1F
「中国料理大観苑」 電話 092-715-2007
会 費：7,000円（平成卒業の方割引有り）
連絡先：九州支部事務局 福岡水道設計(株)内 瀬戸信吾（BS52）
E-mail:shingo_seto@fukuoka-sui.co.jp
TEL 092-475-8820 FAX 092-475-8865 携帯 090-3738-1379

関西支部

日 時：平成23年 7月2日(土)
理事会 13：00～14：00 総会及び特別講演会 14：00～15：30 懇親会 15：45～17：45
場 所：弥生会館 大阪市北区芝田2丁目4-53（JR大阪駅北側近く）電話 06-6373-1841
会 費：7,000円（新入会員は不要）
連絡先：関西支部事務局 鈴木邦彦（BS59）ヤマキウ(株)内
電話 06-6552-7420 FAX 06-6552-7421
関西支部長 石川浩次（BS32M）E-mail:k_ishikawa@msj.biglobe.ne.jp

これからの名簿作成までの手続きは、以下の通りです。

1. 「確認ハガキ」に必要部分を記載し、同封の目隠しシールを貼って、平成23年6月10日(金)までに名簿購入の有無にかかわらず必ずご返信下さい。

なお、原則として期日までにご回答がなかった場合は、会員名簿への掲載をご承諾頂いたものとさせていただきますのでご了承下さい。

但し、この度の災害で「北光」の到着が遅れた地域の方は、期日に関係なくご返信下さいますようお願いいたします。

2. 「確認ハガキ」に基づき、平成23年12月を目途に「平成23年版会員名簿（学部創立100周年記念）」を作成し、振込を頂きました方へ発送致します。

以上、よろしくお願いいたします。

<お問い合わせ先> 北光会事務局

Tel 018-835-9822・018-889-2317

Fax 018-835-9822

E-mail: info@hokkokai.com

見本

「北光」149号には下記案内文が同封されております。

「確認ハガキ」を切り取りの上ご返信ください。

確認ハガキ																									
卒業学科年	MH23 会員番号 M8765																								
氏名	北光 太郎																								
旧姓																									
現住所	〒010-0001 秋田県秋田市中通1-2-3 千秋公園M-505																								
電話番号	018-888-1234																								
FAX	018-888-5678																								
E-mail																									
勤務先	北光会																								
勤務先住所	〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学工学部 学内																								
電話番号	018-835-9822																								
FAX	018-835-9822																								
E-mail	info@hokkokai.com																								
広告掲載申込	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>1頁</th> <th>1/2頁</th> <th>1/3頁</th> <th>1/4頁</th> <th>1/8頁 名刺サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表裏紙 (内面)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏表紙 (内面)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>連付</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	サイズ	1頁	1/2頁	1/3頁	1/4頁	1/8頁 名刺サイズ	表裏紙 (内面)						裏表紙 (内面)						連付					
サイズ	1頁	1/2頁	1/3頁	1/4頁	1/8頁 名刺サイズ																				
表裏紙 (内面)																									
裏表紙 (内面)																									
連付																									

「確認ハガキ」返信のお願い

「北光」149号 3～5 ページをご参照の上必ずご返信ください。

左の「確認ハガキ」(切り取り)に印刷されている内容が「北光会」に登録されております。下記事項をご確認の上、期日までの返信をお願いいたします。(料金受取人払いですので切手は不要です。)

- ・訂正又は補足の場合は空欄にご記入ください。
- ・名簿に掲載したくない項目は掲載可否欄に×をご記入ください。×印の項目は北光会に登録されますが会員名簿には掲載されません。前回の名簿発行の際も何ってありますが改めてご記入ください。
- ・名簿購入の有無にかかわらずご返信ください。
- ・返信締切日 平成23年6月10日(金)

※締切日までに返信がない場合はこの内容で名簿に掲載させていただきますこととなりますのでご了承ください。

但し、この度の災害で「北光」の到着が遅れた地域の方々は、期日に関係なくご返信ください。

広告掲載について

掲載希望の方は左の「確認ハガキ」でお申込みください。詳細は本誌5頁をご参照ください。

ご家族様へお願い

・ご本人が逝去されている場合はその旨をご記入の上ご返信をお願いいたします。

・ご本人が送付先に居住されていない場合、「確認ハガキ」の件をお伝えくださいますようお願いいたします。

裏面もご覧ください→



(お問合せ先)
北光会事務局
TEL・FAX 018-835-9822
TEL 018-889-2317
E-mail: info@hokkokai.com

「平成23年版北光会会員名簿」(学部創立100周年記念)への 「企業広告」および「個人広告」掲載のお願い

北光会名簿編集委員会

委員長 鈴木 雅史 (ES60)

この度「北光会」では学部創立100周年を記念し、「平成23年版会員名簿」を発行することになりました。従来、名簿の発行にあたりましては関係企業に広告の掲載をお願いして参りましたが、今回の記念版では関係企業のみならず、会員が経営されている企業や会員個人の広告の掲載もお願いしたいと思っております。

つきましては、下記の要領をご参照の上、貴社および貴兄の広告を是非ご掲載くださいますようお願い申し上げます。

記

発行部数 800部(予定)
サイズ A4版 約650頁(予定)
発行日 平成23年12月
申込締切日 平成23年6月10日(金)
申込方法 「北光」149号に同封の「確認ハガキ」の広告掲載申込欄に○印をご記入の上お申込下さい。受付後に案内をお送りいたします。

広 告 料 金

サイズ(縦×横) cm 掲載場所	①1頁 (25.0×17.0)	②1/2頁 (12.0×17.0)	③1/3頁 (8.0×17.0)	④1/4頁 A(12.0×8.0) B(6.0×17.0)	⑤1/8頁 名刺サイズ (5.5×9.0)
表表紙(内面)	100,000円	50,000円			
裏表紙(内面)	60,000円	30,000円			
後 付			20,000円	15,000円	5,000円

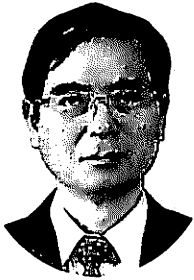
印刷は、白黒となります。

表紙は表表紙、裏表紙、各1頁の掲載のみで、先着順とさせていただきます。

広告掲載料金につきましては名簿発行後にご請求させていただきます。

「資源の安定確保へ」秋田大学の挑戦

秋田大学長 吉 村 昇 (ES42)



標題は第60回(2010年度)河北文化賞受賞(2011年1月17日贈呈式)のタイトルである。2008年4月学長就任以来、最も重視してきたのは大学の「存在感」。地域と世界に向け、「選択」と「集中」というキーワードを軸として、地方大学の存在感を高めることが、学長として母校の舵取り役と自負している。

日本の資源セキュリティをいかに確保し、安定供給体制を確保するか。2010年秋には外交が乱れた過程で、ハイテク製品に不可欠なレアアース(希土類)の入手が困難になり、あらためてレアメタルやレアアースなどを安定確保することの重要性、そして難しさを知った。資源の大半を海外に依存している我が国。1910年設立の秋田鉱山専門学校を前身とし、100年の歴史を誇る秋田大学は、今、地方の大学でありながらいわば「資源外交」の一翼を担う立場として、英知を結集し将来につなげようと目標を定めている。

学生時代から約50年、アメリカの大学での約2年間の研究員時代を除き、常に秋田大学を舞台に発信し続けてきた。今の日本の現状を憂い、大学の特性を最大限に活かそうと着目したのが「資源」である。

2009年10月、学内に国際資源学教育研究センターを設置。アフリカのボツワナ共和国に、鉱山系のボツワナ国際科学技術大学を作るプロジェクトのスタートを切った。教員を長期派遣

して人材育成を行い、研修生も受け入れる。秋田大学では、現在、ボツワナからの大学院留学生2名が「100年の蓄積」を引き継ごうと学んでいる。同センターの教員総勢6名(教授2名、准教授3名、助教1名)は、モンゴル、チリ、カザフスタンなどの資源国に飛び、資源確保の活路を開こうと試めている。そこには国境はない。あるのは、グローバル化の中での秋田大学の挑戦「資源外交」の姿である。

留学生の受け入れ、教員の活動。その大切さを自覚し、財産である「人」を支える施策を繰り出している。2010年7月には、私自身モンゴルに飛び、2つの大学(イフザサグ大学、モンゴル国立教育大学)と国際協力協定を締結した。モンゴルの豊富な地下資源を秋田の知が掘り下げるためである。

日本を支え、地域に誇りをもたらし地方大学の挑戦。「目指すは資源教育における世界の総本山」。これから3年間、国益と秋田大学の発展をかけ、牽引役を務める覚悟である。

ご 挨拶

秋田大学理事・副学長（研究・産学連携・情報担当） 西 田 眞 (ES49)



3月31日を持って、工学資源学研究科長を辞し、4月1日より秋田大学理事・副学長（研究・産学連携・情報担当）に就任することになりました。工学資源学研究科長・工学資源学部長としての3

年間、北光会の皆様には大変お世話になりました。この場を借りまして、心中より御礼申し上げます。

さて、3年前工学資源学部長へ就任した当時は、国立大学法人の第一期中期目標計画期間の終盤にさしかり、法人評価委員会による暫定評価受審と重なっておりました。国立大学法人へ移行して初の法人評価のため、戸惑う事も有りましたが、学部・研究科の教職員一体となった努力と北光会の支援もあり、第一期中期目標計画期間の業務実績、教育・研究とも、一定の評価結果を得ることが出来ました。

当時、工学資源学部としても、学部・研究科の特色の明確化や存在意義の明確化、そしてこれらを具現化する教育研究体制の整備、さらには社会への説明責任が求められておりました。そこで、工学資源学部の方向性として、創立100年を間近に控えた「秋田鉱山専門学校」設立の原点に立ち返り、「工学資源学部」の人的・歴史的財産を活かすことを基本に据えて学部運営を進めてきました。その結果、平成20年度に地域再生人材創出拠点の形成として「あきたアーバンマイン技術者養成プログラム」、専門職大学院等における高度専門職業人養成教育プログラムとして「資源開発人材育成プログラム」が採択されました。さらに、DOWAホールディングス株式会社からの寄付による「リサイクル

プロセッシング寄付講座」を環境応用化学科に設置することもできました。これらをステップに、平成21年10月には秋田大学国際資源学教育研究センターが学内措置により設置され、学部教職員総力挙げた努力により、22年4月には3名の教員純増が文部科学省より認められました。法人化以降、学生定員に関係しないセンター等への定員配置が殆ど認められない中、極めて異例な出来事であり、文部科学省の工学資源学研究科に対する期待が如何に大きいのか理解されます。

さらに、秋田県立大学と共同で平成23年4月に開設する予定の「共同ライフサイクルデザイン工学専攻」は、公立大学と国立大学とで設置する初のケースとして期待を集めております。この教育研究分野は工学と資源学を繋ぐものであり、平成10年に鉱山学部から工学資源学部への改組再編を行った理念の具現化とも言える出来事です。

去る2月28日には恒例となった文科省と秋田大学との意見交換に参加させていただきました。席上、工学資源学研究科の将来構想に対して、文科省担当者より極めて協力的な発言を頂き、3年前とは隔世の感を抱きながら戻ってきました。

最後になりますが、工学資源学研究科長・工学資源学部長として、多くの皆様に育てていただきましたことに感謝しております。4月より理事・副学長として研究科を離れ、本部で仕事をすることになりますが、引き続きご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

研究科長就任挨拶

工学資源学研究科長(学部長) 小川 信 明



同窓生の皆様、こんにちは。吉村現学長、西田前学部長の後を受けて、平成23年の4月から、工学資源学研究科長(学部長)を拝命することになりました小川と申します。

鉾山専門学校以来の伝統ある工学資源学部は、平成23年度に創立100周年を迎えます。その年に私が学部長を拝命することになったことは、何かの巡り合わせのような気がしますが、大変名誉あることだと存じます。

今年度の大きな課題としましては、先に述べました創立100周年(10/1/2011記念式典)を盛り上げ、無事遂行することと、県立大学との共同大学院構想を実現することです。資源の確保・開発の重要性が叫ばれている昨今、鉾山学・資源学については、わが学部は世界の中心となることを目指して、さらに、つき進もうとしています。この学問分野は、資源探査、資源開発・製造、資源回収・リサイクルの3本柱からなります。前2つの柱は、従来から行われている大変重要な学問分野で、現在でも研究レベルは高く維持されており、たくさんの同窓生が、世界で活躍されています。第3の分野は、近年目覚ましい進展を見せている分野であり、生活の中で出てくる廃電気製品等(アーバンマイン—都市鉾山)からのレアメタル等の有用金属の回収・資源のリサイクルを、推進しています。工学資源学部は、このような分野の技術者・研究者を育て、国内外に輩出していくことが望まれ、事実、卒業生はそのような場面で活躍し

ております。

一方、ライフサイエンス、材料、情報、メカトロニクス、エレクトロニクス、土木と言った、工学系・理学系の学問分野も地域、産業界や種々研究機関と連携しながら、世界のトップの技術・研究レベルを維持しております。そして、これらの分野でも同窓生が、やはり、日本国内・世界で活躍しております。

学部・研究科では、これらの分野で、世界で活躍できる人材を育てるために、日夜、教育・指導に励み、特に英語の教育には力を注いでおりますが、これらの教育面も、さらに充実させるつもりです。

上記のように、秋田大学工学資源学部は、伝統ある魅力あふれる学部であり、この学部を(研究科)を卒業・修了された同窓生の皆様には、さらに、業界・学会で活躍され、そのことをわが学部フィードバックしていただき、学部のさらなる発展ができるように希望しています。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

一日も早い復興を ～新会員の力に期待～

菊 地 芳 朗 (GS34)



この度の東日本大震災でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日
午後 2 時 46 分、マグニ

チュード 9.0 (M9.0) の地震が発生しました。本当に驚きました。東北地方太平洋沖地震です。これに津波が発生し未曾有の、形容する言葉もない凄まじい災害となりました。

4 月 3 日現在、死者 1 万 2,087 人、行方不明者 1 万 5,552 人となり、その被害は日本最大の津波被害と言われ、死者と行方不明者 2 万 1,959 人を数えた明治 29 年 6 月 15 日の明治三陸地震 (M8.2 ~ 8.5) を超えました。

これに東京電力福島第一原子力発電所の事故が加わり、放射能被害で野菜や水道水にも影響が出て、深刻な状態が続き住民に不安を与えております。

この復旧のため作業に携わる皆さんは放射能の危険も顧みず懸命の作業を続けております。この中に私達の会員もおられるのでしょうか。携わっている方々には敬意を表します。

今回の事故は予想以上の巨大地震と大津波によりますが、原発は二重・三重の安全対策が取られていると思いましたが、その辺がどうなっているのでしょうか。これから検証されることでしょうか。しかし、原子力を人間の手で制御できると考えたところに問題があったのでしょうか。何れにしても「原子力は化石燃料でなく、二酸化炭素を排出せず、地球温暖化防止につながるクリーンエネルギー」としてきた国のエネルギー政策は大きく見直さざるを得ないことは確かでしょう。

さて、創立 100 周年の募金ですが、先ず最初に多くの会員の皆様からご芳志を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

3 月 31 日現在：4,177 名 (件) (分割件数 603 件を入れると 4,780 件) 総額：1 億 7,805 万円で、

その内訳は

企 業：	235 社	5,397 万円
篤 志 家：	18 名	149 万円
教 職 員：	156 名	1,016 万円
学部後援会：	11 回	2,365 万円
北 光 会：	3,757 名	8,878 万円

となっております。募金期間も残すところ 5 ヶ月となりましたが、企業募金は、この度の災害により企業訪問など積極的な募金活動を当分の間行わないことに致しました。

会員の皆様につきましては、引き続き従来通りご芳志をお受けしております。

最後になりましたが、新正会員の皆様一言ご挨拶を申し上げます。

卒業は本来慶事なことですが、この度は卒業式の中止に伴い、皆様の歓迎会も取りやめとなりました。誠に残念なことでもあります。

今年は就職難と報道されておりましたが、幸いにも学部の卒業生の就職は例年並みと聞いております。誠にご同慶の至りです。

歓迎会で、私は皆様に「チャレンジ」と「思いやり」の二つの言葉を述べるつもりでした。「チャレンジ」は理工系の人間として、どう立ち向かっていくか、言うことでした。しかし、今チャレンジするのはこの大震災の復興です。

日本は先の大戦で多くの都市が廃墟となりました。これを復興し今日の日本を築き上げたのは皆様方の祖父や祖母と同年代の方々でした。

それは大変な事でしたが、これをやり遂げる力がありました。その力は今でもあると信じております。この大震災から必ず立ち直ると確信しております。そのためには若い皆様の力なくしては達成できません。皆様にもそれをやり遂げる力があります。よろしくお願い致します。

もう一つの「思いやり」ですが、隣近所にたいする思いやりは勿論ですが、地球上には戦争、食料、資源や環境など多くの問題があります。地球上のあらゆるものに対する「思いやり」を語りたかったのですが、今はただ一つ、災害に遭われました皆様への「思いやり」を大切にして下さい。お願い致します。

皆様の活躍を期待しております。

学部創立100周年記念事業報告

工学資源学部創立100周年記念式典の計画について

記念式典実行委員長

機械工学専攻 渋谷 嗣 (MS55)

工学資源学部創立100周年を祝う記念式典は、平成18年から実行委員会を組織して検討してきました。現段階で、下記のように計画しております。

〔記念式典の計画〕

開催日：平成23年10月1日(土)

午前の部

場所：鉱業博物館（地図の①）

- ・ 11：00～12：00 鉱業博物館披露と記念碑除幕式

午後の部

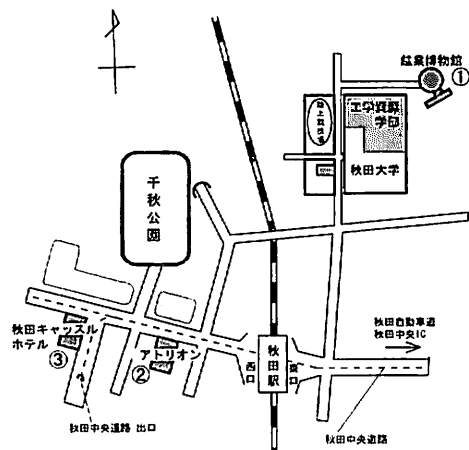
場所：アトリオン音楽ホール（地図の②）

- ・ 13：30 記念式典開会
- ・ 13：30～13：50 記念演奏会
- ・ 13：55～14：55 式典
- ・ 15：00～16：30 記念講演会

場所：秋田キャッスルホテル（地図の③）

- ・ 17：00～19：00 記念祝賀会

記念式典当日の日程は午前の部と午後の部に分かれています。午前の部は秋田大学の鉱業博物館において、記念事業の一つである鉱業博物館拡充・整備の内容を披露する事にしています。



博物館の拡充・整備については、「北光」第148号（2010）に鉱業博物館専任教員の西川先生が紹介されています。また、記念碑は創立100周年記念事業募金趣意書の写真にある秋田鉱山専門学校旧校舎に関連したものを残したいと準備を進めているところです。

午後の部は場所を秋田市の中心部（広小路）にあるアトリオン音楽ホールで記念式典、秋田キャッスルホテルで祝賀会を行います。会場のアトリオン音楽ホールは平成元年に建てられた複合施設です。その中でも音楽ホールは中心的施設であり700名収容のホールです。音楽ホールとしてすばらしい設備を備えているので、はじめに教育文化学部の四反田教授の指揮による弦楽アンサンブルの記念演奏会で始まり、式典、記念講演会を実施する予定です。また、その後、秋田キャッスルホテルに会場を移して、祝賀会を行います。

数年前から秋田大学手形キャンパスは大変きれいに整備されました。また、正門前の道路を挟んで向かいには秋田大学ベンチャーインキュベーションセンターが新築され、さらに隣に増築の計画もされています。秋田大学の周辺の環境も秋田市中心部道路、秋田駅東地区の区画整備が進み大きく変わりました。

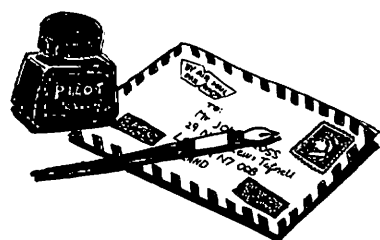
10月1日(土)の記念式典では、皆様とともに新しい100年に向かって建学の熱い思いを新たにしたいと思います。正式な記念式典参加の案内と申し込み方法は、次回「北光」に掲載していただくようお願いする予定です。詳細は次回の「北光」第150号をご確認いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

この一年は非常に厳しい天候でありました。猛暑による熱中症などの健康被害や農作物の被害、豪雪による交通機関のマヒや除雪作業中の事故など多くの被害がでました。私も「まさに異常気象と呼ぶに相応しい天候」と考えていましたが、先日チラと見た雑誌か何かで地球の寒冷・温暖サイクルは約10万年周期ということを知りました。実際そうであるとすれば、今回の猛暑や豪雪も地球にとっては通常範囲といえる変化なのかもしれません。自然について人間が知っている事はまだまだ少ないのでしょう。

さて、私には1歳チョットの娘がおります。この時期の子どもは皆そうだと思いますが、気になるものを見つけると歩み寄って手で触り、ちょいと口に入れ、それがどの様なものなのか確かめます。先入観にとらわれずに自ら確かめた事実を知識として蓄え、すごい速さで成長しているのだと思います。娘のこんな姿を見ていると、その身を持って事実を認識することの重要性を改めて感じます。また、様々な状況に適應できる柔軟さを人間は持っているのだということも感じます。その一方、私自身を省みますと、従来の考えや路線を踏襲することに慣れ、自分の感覚を信じて一歩踏み出すことに躊躇いがちになっているように思います。これでは今回の猛暑や豪雪のような“例年に無い事”が起るたびに慌てることになりそうです。新しい出来事を「今年は異常らしいし」と片付けずに、自分なりに認識し、生きている限り“成長”という変化をしていかなければと思う次第です。今春修了・卒業された学生の皆様も色々なチャレンジをし、新しい事を自分の身で確かめ、より濃く成長し、人生を楽しんで欲しいと思います。

最後になりましたが、ご寄稿くださいました皆様、依頼原稿を執筆くださいました皆様に深く感謝を申し上げます。 高橋 毅(EH10)

※この度の東日本大震災により被災され、現在も困難な状況に置かれている皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、一刻も早く被災地に十分な量の食料、水、燃料等の必需品が行きわたりますこと、そして一日も早い復興を願いまして、微力ながらも支援を続けて行きたいと思います。 (3月16日追記)



発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田大学工学資源学部 北 光 会
URL: <http://www.hokkokai.com>
E-mail: info@hokkokai.com
電 話 018(835)9822
018(889)2317
FAX 018(835)9822
振 替 02510-5-1231

発行人 神 谷 修(MS51)

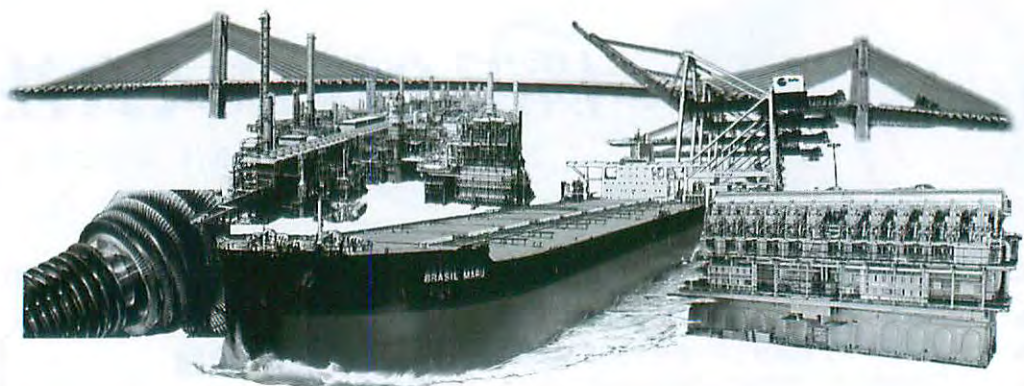
編集委員

大友 崇穂(KS47)	今井 忠男(BS63)
長縄 明大(PH2)	山下 剛司(RH4)
宮崎 敏夫(MH8)	高橋 毅(EH10)
福田 誠(EH14)	佐藤 菜花(WH18B)
齋藤 憲寿(CH18)	

北光会事務局

事務局 長	神 谷 修(MS51)
庶務担当理事	麻 生 節 夫(HS52)
会計担当理事	五十嵐 隆 治(ES49)
ホームページ担当理事	
	横 山 洋 之(DH1)
コンピュータ担当理事	
	玉 本 英 夫

事務室 遠 藤 福 子、佐々木 静 子
印刷所 秋 田 活 版 印 刷 株 式 有 限 公 司



CREATING A DRAMATIC FUTURE

MES 三井造船株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目3番16号
電話 03-5202-3147 <http://www.mes.co.jp/>

一鉱業博物館に寄贈される石炭造形物一
(本誌 37 頁参照)

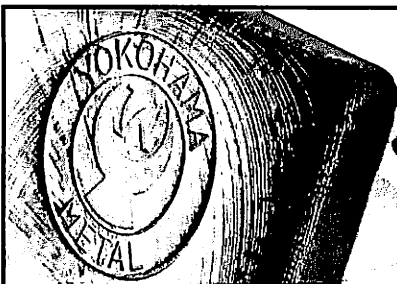


Presence to the Coal Production, Team by Dr. Takai Director of the Shime Coal Mine, Taken from Coal Seam at NO.4 pit May 1948.

参考：石炭産業の存在，志免炭鉱・所長，高井博士のチームが，1948年5月に4番立坑の炭層から採掘。(幅30cm×奥行き30cm×高さ40cm)



卯年の平成 23 年、年明け早々構内にウサギの雪像出現。センター試験の受験生も緊張の糸がほぐれたのでは…。それにしても豪雪の冬でした。(雪像は機械工学科学学生有志の作品です。)



横浜金属株式会社

終わりのない鉱脈は、都市にある。

純銀
999.9

Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格表示許可工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精錬

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

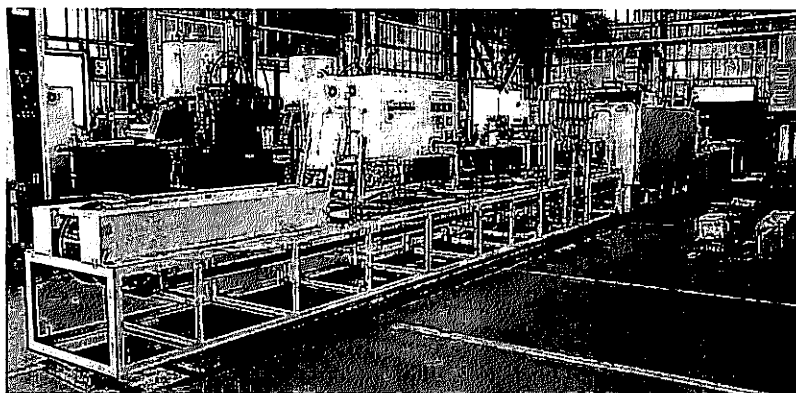
横浜金属グループ

横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台3-5-2 Tel 042(773)4411 Fax 042(773)4775
<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 **サーマル**

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail thermal1@sepia.ocn.ne.jp